



伝趙伯駒「仙山樓閣図」(個人蔵)(部分)



伝文徵明「瀟湘八景図巻」(個人蔵)(部分)



久隅守景「鶴冠図屏風」(個人蔵)



池大雅「傲巨然 稲荷山図(京都名勝六景のうち)」(個人蔵)



このたび、2018年に収蔵された「輞川図巻」の3年にわたる修理が終了したことを記念し、「輞川図巻」の全巻初公開を行います。

「輞川図」は、唐代の詩人・画家である王維が営んだ輞川荘を自らが描いたという故事に基づく主題で、中国や日本など、東アジアで幅広く人気を博し、盛んに描かれるようになりました。このたび初公開する「輞川図巻」は、北宋の画家・郭忠恕が描いた「輞川図巻」を模刻した石刻本に基づいていますが、16世紀に蘇州で活躍した仇英の画風からの影響が認められ、その描写は緻密です。

本展では、「輞川図巻」とともに、明代の蘇州で制作された新出作品などを出陳し、「輞川図巻」の魅力をご紹介します。

また、静岡県・浙江省友好提携40周年を記念して、浙江省にある蘭亭に注目し、王羲之が蘭亭に文士41人を集めて修禊を行った故事を描く「蘭亭曲水図」を特集します。展示では、池大雅「蘭亭曲水図屏風」(重要文化財)など、江戸時代の大作3点を並べることで、「蘭亭曲水図」の多彩な表現をご紹介します。それに併せ、久隅守景、大雅ら「蘭亭曲水図」の作者の関連作品もご覧いただきます。

記念シンポジウム「輞川図と蘭亭曲水図をめぐる諸問題」

本展に併せ、超豪華メンバーによるシンポジウムを開催します。奮ってご参加ください。
参加無料・要申込 ※申込方法、内容詳細は当館ウェブサイトでお知らせしております。

日時：12月3日(土) 13:00~17:30 会場：当館講堂



プログラム 第一部「輞川図と明代蘇州の庭園(園林)画」

- 板倉聖哲氏(東京大学教授)
「模倣?複製?贋作?—「蘇州片」をめぐる」
- 呉孟晋氏(京大准教授)
「静岡県立美術館本からみる輞川図の展開」
- 植松瑞希氏(東京国立博物館研究員)
「明代蘇州の王維憧憬」

第二部「蘭亭曲水図と江戸時代の庭園画」

- 佐藤康宏氏(東京大学名誉教授)
「蘭亭曲水図——明末から江戸中期へ」
- 野田麻美(当館学芸員)
「久隅守景『蘭亭曲水図屏風』試論
—江戸狩野派の蘭亭曲水図にみる遊宴図像の展開」
- 横尾拓真氏(名古屋市博物館学芸員)
「大雅作品に見る烹茶場面の添景について
—静岡県立美術館所蔵『蘭亭曲水・龍山勝会図屏風』を中心に—」
- 総合討議 司会・ディスカッサント：塚本磨充氏(東京大学教授)

※本シンポジウムのプログラムに加え、王維『輞川集』や王羲之「蘭亭序」に関わる論文を収めた書籍を勉誠出版より出版予定です(2023年3月頃)。詳細はシンポジウムの後に当館ウェブサイト、勉誠出版ウェブサイト上发表します。

学芸員によるフロアレクチャー●12月17日(土)14:00~●申込不要●集合場所=第7展示室

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、各種予定は変更または中止する場合があります。

同時開催 企画展「みる誕生 鴻池朋子展」2022年11月3日(木・祝)—2023年1月9日(月・祝)

静岡県立美術館

Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2

ウェブサイト <https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/>

お問合せ 総務課 Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767

学芸課 Tel.054-263-5857

交通案内

- JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
- JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
- JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
- 静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
- 東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、
日本平久能山スマートICから車で約15分
- 新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分

